

進路だより —それぞれの夢に向かって—




微笑む進路 MUHS 進路指導部

第 8 号

1 2 . 1 2 . 1 5



進路だよりはイチゴの日

今年度の主な学校行事・進路関係 (12/15 ~ 1/25)		センター試験まで 36 日
1 2 月 1 4 日 (金)	2 年生進路講演会 (4 限 視ホール・ベネッセ)	
1 5 日 (土)	3 年センターチャレンジ I (校内・駿台)	
1 6 日 (日)	↓	
1 7 日 (月)		
1 8 日 (火)	成績会議・高校職員会議	
1 9 日 (水)		
2 0 日 (木)		
2 1 日 (金)	終業式・大掃除	
1 月 6 日 (日)	3 年センターチャレンジ II (校内・河合塾)	
7 日 (月)	↓	
8 日 (火)	始業式・大掃除 合同職員会議・食堂営業	
9 日 (水)	一斉テスト (1, 2 年)「1 英・2 国・3 数・4 HR」	
	3 年 1 ~ 3 授業 4 限 HR	
	1 年学習状況調査 (4 限 HR)	
1 0 日 (木)		
1 1 日 (金)	午前授業 午後中学適性検査会場作成	
1 2 日 (土)	中学適性検査 I	
1 3 日 (日)		
1 4 日 (月)	成人の日	
1 5 日 (火)		
1 6 日 (水)		
1 7 日 (木)	合同職員会議	
1 8 日 (金)	午前授業 午後中学適性検査会場作成	
	3 年生センター試験直前注意 (3 限・視ホール)	
1 9 日 (土)	大学入試センター試験(男子→立教大学新座キャンパス)	
2 0 日 (日)	(女子→十文字学園女子大学) ~ 20 日(日)	
	1, 2 年センターチャレンジ (希望者 ~ 20 日)	
	中学校適性検査 II	
2 1 日 (月)	3 年生センター試験自己採点(1~3)4HR 午後面談	
2 2 日 (火)	3 年午前中授業 ~ 23 日 3 年二者面談 ~ 29 日	
2 3 日 (水)	1 年実力テスト (1 限 ~ 6 限)	
2 4 日 (木)	3 年臨時休業	
	教員対象センター試験データ分析会 (各予備校主催・午後)	
2 5 日 (金)	合 3 年合同 HR (国公立大出願注意等・1 限視ホール)	
	2 限 LHR センター試験個人データ返却・面談	

【 3年生へ 】

センター試験の会場は、**男子は立教大学(新座キャンパス)・女子は十文字学園女子大学**と決まりました。今までに「進路だより」や「進路ニュース」で先輩の感想をたびたび紹介していますが、センター試験は、ほとんどの人は高校受験以来の入試になり、模擬試験とはあきらかに違います。雰囲気や飲まれたり慣れない会場での入試で普段の実力が出せなかった例もたくさんありますので精神的に慌てることのないようにしっかりと準備をして臨みましょう。

この時期のポイントを紹介すると、



① センター試験の会場の下見をしておきましょう。

※ 過去に会場の時に近くにある**同じ大学の別のキャンパス**に行ってしまった人がいました。

※ (立教大学には新座キャンパスと池袋キャンパスがあります。)

② 願書(入学試験要項・募集要項)を早めに集めましょう。

この「進路だより」が配られる頃には全ての大学で願書の準備ができます。現在では様々な方法で申し込みができます。学校でも配布中です。(※ 早慶上智 I C U 明治学院以外) 国公立大学は、あらかじめ受験する大学の願書は用意すると思いますが、センター試験の結果による面談で受験する大学が変わる場合があります。面談 → 願書取り寄せ → 出願の流れの中で日程の余裕があまりありませんので注意しておきましょう。(進路ではセンター後の変更用の募集要項も若干用意しています。)

自分の「志」を示す上でも国公立大学の第一志望校の願書は、事前に取り寄せて手元においておくモチベーションが維持できるのであります。

また、不要になった願書は進路指導室まで。新たに受験する人が助かります。

(平成7年の阪神大震災では、東西の交通機関が断たれて願書の到着に遅延が生じたこともありました。)

センター試験の結果で出願できるセンター試験利用入試も考えておきましょう。もしもセンター試験の得点率が高ければ出願できますが、願書や心づもりがなければなかなか出願までどり着けません。水曜日の夜から各予備校のサイトではセンター試験の点数を入力すると合格判定が出るようになるでしょう。24日(木)の午後にはセンター試験の個人データが各予備校から送付されて担任に渡り、25日(金)に生徒へ配布されます。ただセンター試験後に得点率を見て出願できる大学の場合、願書の用意も含め時間の余裕がありませんのであらかじめ準備が必要です。また、下記の2大学については、事前に出すつもりでないとは出願できません。

例 東京女子大学 → 1/20(消印有効)・早稲田大学 → 1/21(消印有効)

東京女子大はセンター試験中(2日目)、早稲田大学はセンター試験直後に締切です。どちらもセンターリサーチでの合格判定が出る前の出願になります。

③ 模試での合格判定「D～E」の人は、あと何点取ればC～D評価になるかを考えて最後までがんばる事です。現実に現役生なら「DE」の層からでも合格してます。

現役生の中でも、特に市高生は、受験の前日まで成績が伸びています。これからの時期は、「体力勝負」です。「体力」が「精神力」を持続させてくれます。国公立大学志望者は、後期試験までがんばりましょう。国公立大学の後期試験欠席者はほぼ50%程度、中には65%程度になった大学も過去にありました。

「最後までがんばった人に幸せが来ます。」

過去の3年生で、東京にある教育系の国立大学を受験しましたが、センターリサーチの判定は前期▲判定（ボーダーから50点も下回っていました）でしたが、自分の「意志」を貫くことを選び、試験前日まで面接練習を続けた末に見事前期試験で合格を勝ち取りました。試験に「面接」などの実技がある大学や私立大学などでは、国公立大学よりももっと番狂わせが起きやすくなります。予備校などのデータを見ると早稲田大では各偏差値帯から合格者が出ています。データそのものを信じることも大事ですが、受験はあくまでも本人のモチベーションです。本人の強い信念が無くしては、たとえA判定やB判定でも合格は確実ではありません。

またA判定やB判定が出ている私立大学を受験しようとするときに「赤本」も見ないで受験したり、気を抜いて漠然と受験していたら必ず「不合格」になってしまいます。特に「安全校」と言われている大学の入試問題は、必ず見ておくことです。記述式が苦手な人が受験して「不合格」になった例もあります。反対に挑戦校が得意な「マーク式」で「合格」した例もあります。同じ大学でも青山学院大のようにA方式が記述式、全学部とB方式でマークシートに別れるものもあるので、得意なものを選びましょう。本校でMARCHに合格者をたくさん出すようになりましたが、相変わらずボーダーラインすれすれで合格している人も多くいます。1点差でも「合格」は「合格」、反対に合格基準点に1点足りなくても「不合格」は「不合格」なのです。

④ 「受験」は1日だけではありません。自分の第1志望校の試験日にいかに「ピーク」を持って行くのか。過去には第1志望の国立大学しか受験しないで合格した先輩もいましたが、良い意味で「自分を追い込んで」いったのでしょうか。センター利用で私立大学に合格した後、私大の一般を一つも受けず国立大学の準備に集中した先輩もいました。

センター試験で思わぬ点数を取ってしまう人が毎年必ずいます。思わぬ良い点数の人は気を緩めているつもりはないのですが、一部の人で私立大学の一般入試で不合格を重ねてしまう人も毎年います。

センターで悪かった人は、「気持ちの切り替え」が大変重要になってきます。過去にセンターで失敗しても私立大学の一般入試で自分のレベル以上の大学に合格した人もいました。やはりそういう人よりも「自信」を失ってその後の私立大学の一般入試で「実力」が出せなかった人の方が多いようです。そういう人に関して「こんなはずになるとは…」と考えていた人がほとんどです。必ず安全校は受けましょう。女子の人は安全校になる「女子大」を1つ考えておきましょう。

【 2年生へ 】

ベネッセの資料より大学に合格した人の中で、大学受験を意識して勉強した時期による合格率のデータを見ると高2の1学期で90%、2学期で85%、3学期で65%高3の1学期では37%だそうです。

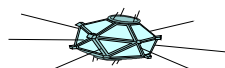
本校では高2の今の時期ぐらいから高3になる春までがもっとも塾・予備校に関心が出てくる時期になります。やはり周囲が受験勉強を始めたりして気持ちに焦りが生じることが原因でしょう。

某高校の模試で校内順位上位20%以内の人は、平均2時間の家庭学習をやり、下位20%の人では30分程度というデータもあります。本校の生徒で塾に行こうと焦る生徒が毎日家で何分勉強しているかが問題になります。もし塾に行けば家庭での勉強だけでなく、塾の勉強もしなければならなくなると、ますます学校での授業の予習・復習に割く時間が無くなってしまわないのでしょうか。授業にも部活動にも塾にも集中できない生活ではますます成績が下がる一方になってしまいます。

部活動で毎日忙しくても授業中はボールが飛んでくることも走ることもありません。ただ授業に集中していればよいのです。勉強が進まずに焦る人がいたら、まず授業中にいかに集中するかを考えて下さい。また、勉強ができなくて塾に行こうとする人は物事を安易に考えがちです。まず自分の生活習慣を変えていくことが大切です。

「2年生の3学期は、3年0学期」と言われるように受験勉強には早いスタートが必要ですが、さらに大切なのは将来の目標大学を決めることです。センター試験の問題を解いてみるセンターチャレンジに参加して刺激を受けても良いかも知れません。

【 1年生へ 】



埼玉県の高校生は中学時代の入塾率は他県に比べて高い反面、高校入学後に塾を辞めてしまう数も多いそうです。高校受験まで受験勉強は塾でやっていた生徒が高校に入学して塾を辞めてしまうと、日常の勉強を家庭でやっていなかった生徒が、急に勉強するはずがありません。ましてや高校の授業は、最低限の予習・復習をしなくては定着していかずにどんどんわからなくなっていくます。高1の今頃から急に勉強の難易度が高くなってきます。授業がわからない生徒が塾へ行っても傷口を広げるだけです。2年生と同じように、部活動で時間がない生徒は、授業からしっかりと受け取っていきましょう。授業中に覚える。授業中に理解する。家でもとにかく机に向かう習慣をつけることです。(起床時間・勉強開始時間・就寝時間の固定化)

ベネッセのデータによれば、1年生の夏から秋にかけて成績が下がる傾向(中だるみ)にあります。また埼玉県の高校1年生は、休日に勉強する生徒の割合も低い傾向にあります。平日2時間以上学習する人は、1年生の秋から冬にかけて他の層と差がつき固定化するそうです。勉強と部活動の両立に悩む生徒が出てくるのもこの時期です。この時期に勉強をしなくなる層も固定化し、その差がさらに広がることとなります。とにかく今やれること。授業への集中と予習の徹底を心がけましょう。勉強は「絶対量」が必要です。まず勉強時間を増やせば自然と「力」がついてくることでしょう。